

十勝連峰、三段山（1748m）

日 程：平成27年3月14日～15日

参加者：CL西田（芳）、SL山岸・澤田、及川、
西田（昌）、谷、笹山、近藤 計8名

行 程：14日白銀荘発；14時10分、1190m
小休止；14時58分、2段目下（1230m）
スノーシュー組下山、2段目中間点（1250m付近）
スキーチーム下山；15時頃、全員帰着；15時
45分

15日宿発；7時45分、2段目下（1230m付
近）8時35分小休止、二段目上（1360m）
小休止；9時08分、1660m付近小休止；10
時20分、頂上下1740m付近アイスパーン状
態の為登山中止；10時50分、下山；11時0
0分、白銀荘着；11時30分、

今日は幌別を9時5分に7名が2台に分乗、遅めの出
発。途中1名を乗せ、登別東より占冠まで高速走行。
山部のコンビニにて12時05分～12時30分ま
で車中昼食を摂る。さすがにこの辺に来ると積雪があ
り、期待の芦別岳はガスの中で雄姿を拝めず、残念。
十勝岳温泉に向かう道路の樹木は綿帽子で高所の為
雪融けが遅い。13時25分、吹上温泉白銀荘到着。



部屋は2階の大部屋で、8人が泊まるには十分広い。
登山準備をして準備体操を終え、スキー組6名、スノー
シュー組2名で14時10分登山開始。



フカフカの新雪が30cm位積もっており、山スキー
には最高の状態。午前中に何本か滑った跡があり、処

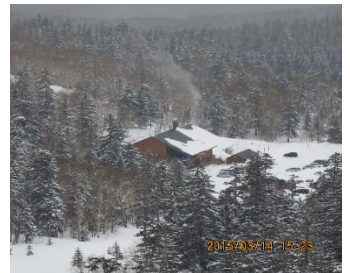
女雪の滑りとは行かず残念だが下りが楽しみ。
大きなエゾ松に雪がしげれ付いており壮観。



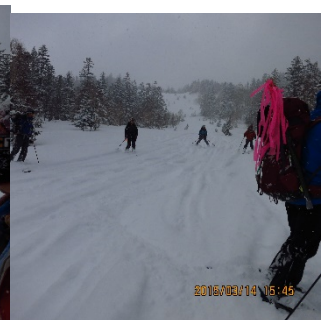
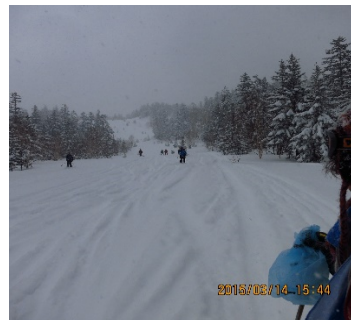
休憩を採りながら、ひと汗かく。2段目下でスノーシュー組
2名は先に下山する。スキーチームは2段目中間地点
（1250m付近）まで登る予定。



1段目下でスキーチームを待てど姿を見せず、早くお
いでと念ずる。下方に白銀荘が見える。



15時40分頃シュプールを描いて6名が姿を見せ
る、粉雪を巻き上げ本当に楽しそう、スキーにすれば
良かったと少し悔やむ。

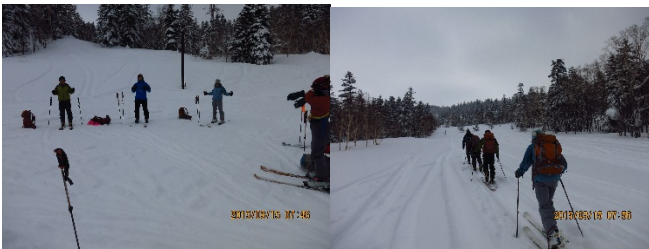


15時45分全員が白銀荘に帰着。雪質最高、明日の
滑りが楽しみだ。男性陣は早速入浴、下山後の温泉は
最高、至福の一時だ。まずはビールで安着祝い、乾杯
女性の方々は炊事場・食堂で今晚の料理に余念がない、
本当に有難うございます。
美味しい料理を前にまず乾杯。

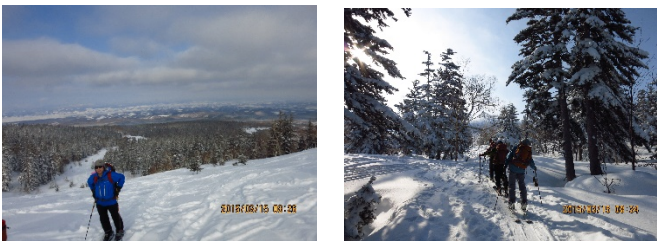


20時過ぎに打ち上げ、男性陣は洗い物。部屋の
中間にテーブルで境を作り、懇談後、順次就寝する
大変暖かく、掛け布団も必要なし。

3月15日（日）、6時起床、おじやで朝食を摂り、全
員スキーの準備をして、大部屋を引き払う。
朝方曇り、のち晴れ。無風状態、気温も3度と高い。
一段高い広い場所で準備体操後、7時50分一列にな
って昨日のトールスを辿る。



富良野盆地を展望、快晴の元、ひたすら高度を稼ぐ。

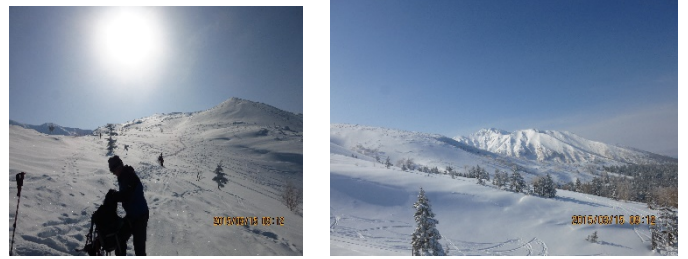


前十勝岳の雄姿を左前方に望み、8時35分、2段目
下で小休止。登りはキツイ、体温調整をする。

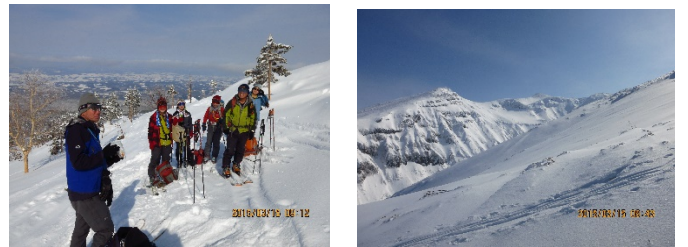


9時08分、2段目上（1360m）付近で小休憩、
少し展望が開け、右前方に富良野岳の雄姿が見えた。
感動だ、1622mの無名峰が前方に見えて来た。ボ
ードを背負った登山者や小パーティが頂上を目指し

登ってくる。



9時08分1660m付近まで登って来た。視界が開
け、頂上が望める。2組ほど頂上を目指していた。
多めの休憩を取る。スタミナ不足でハアハア息が切れ
る。鍛錬不足を感じる。十勝岳の鋭峰を望見。



10時20分頂上直下（1740m付近）に到達。リ
ーダーより、これより上部はアイスバーン状態の為、
安全第一で頂上は断念、下山するの指示。



谷間状の雪質は最高、今日は好天に恵まれ、幾パー
テイも登って来た。下山準備を終え、11時0分下山開
始、昨日の無念を晴らすべくうきうき楽しく滑下りる。



良好なパウダースノーを全員無事滑走し、11時30
分白銀荘到着。館内で入浴、昼食を摂り、13時宿を
後に帰宅の途に就く。樽前で解散、17時頃帰宅する。
2日間天候に恵まれ楽しい山行で、リーダー始めメン
バーに感謝します。